

新政あいち 県議会 県政レポート

編集 新政あいち県議団(県政レポート編集委員会)
〒480-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1-2 愛知県庁内
代表電話 052-961-2111 FAX. 052-961-3766
HP: <https://shinsei-aichi-kengidan.com/>

発行 県議会議員 松本まもる事務所
〒458-0824 名古屋市緑区鳴海町有松裏7-19(名鉄有松駅北すぐ)
TEL. 052-825-4155 FAX. 052-825-4156

2019年夏号 愛知県6月定例議会特集

本レポートは、政務活動費の広報費を一部充当して作製・配布しています。
ご意見・ご要望をお寄せください。

更なる結束と深化で次代を切り拓く!!

令和元年度、新たな体制でスタート

令和元年度の議会人事も決まり、各議員の所属委員会等が決定いたしました。

また、新政あいち県議団の役員人事も新体制へ移行し、高橋正子前団長(一宮市・5期)からバトンを引き継ぎ、安藤としき(清須市、北名古屋市及び西春日井郡・4期)が団長に就任いたしました。

なお、安藤新体制に移行後、愛知県議会は5月臨時議会・6月定例議会が開かれ、6月定例議会では水谷総務会長(天白区・4期)をはじめ6名の議員が代表・一般質問を行うと共に、両議会合わせて総額44億5,986万8千円の補正予算案や条例関係では、制定1件、一部改正5件、更には公安委員・人事委員の選任人事案件等10件の議案を可決・成立させました。

その中でも特に補正予算案については、豚コレラ緊急対策として、農家の経営支援や早



期出荷の促進対策の推進、在留外国人のための相談体制の拡充などが含まれています。条例では、盗難自動車の解体の防止及び自動車の盗難防止のための条例が制定されました。今後も、「県民目線」で地域に根ざした政策の実現を目指してまいります。

愛知県議会議員
(緑区選出)

松本まもる

市政から県政へ視野を広げて

4月の統一自治体選挙におきまして、名古屋市議会から愛知県議会に送って頂きました松本まもるです。

政策集団「新政あいち県議団」の一員として早くも5月臨時議会、6月定例議会を経験させて頂き、常任委員会では「建設委員会」に所属し、陸・海・空の交通政策やリニア事業、また地元緑区の県営「大高緑地公園」や「モリコロパーク」をはじめとした公園管理、河川、下水道また水資源の管理など多岐に渡って所管する幅の広い委員会で県行政に携わることになり、あまりの所管する規模の大きさに改めて県議会議員としての重責を痛感しているところであります。

また議会改革の一環で「議員提案条例の制定」などを目指すプロジェクトチームを会派内で立ち上げ、人工知能の活用、ペーパーレス化、議場におけるタブレット端末の活用など、色々な意味での



アナログからデジタル化に舵を切り無駄を無くしながら、議会の見える化に取り組まなければならぬと考えています。

新政あいち県議団一般質問から

質問詳細は

愛知県議会

検索

ポーションコントロールプレートの普及を求める



黒田太郎
議員(千種区、2期)

生活習慣病を未然に防ぎ、私たちの生活の質の維持、向上

が期待できるポーションコントロールプレートについて、県に積極的な取組を求めた。

これに対し県からは、今年度、市町村の生活習慣病予防を担当する職員や、医療機関、福祉施設、事業所で給食を担当する栄養士などを対象として、12の県保健所で開



谷口ともみ
議員(昭和区、4期)

チャンスの拡大を求めた。

より魅力あるジブリパークにするために若い世代が参画できる場を求めた質問に対し、知事は、期待が大きいジブリパークであり、若い人の声にもしっかりと耳を傾け、わくわくするようなアイデアがあれば、是非とも取り入れていきたいと答弁した。

若い世代のチャンスの拡大を

また、今後ますます必要性が高まる英語力の向上に関して、日本各地に英語体験ができる「英語村」ができていくことから、本県においても、児童生徒が英語でコミュニケーションをとることができると環境の整備を求めた。教育長からは、市町村や企業、大学等関係機関の協力を得て、その環境の整備に努めていきたいと答弁があった。

谷口議員は他に、小中学校の常勤講師不足についても質問し、年度当初に102人の常勤講師不足の実態を明らかにし、その対策を求めた。

放課後児童クラブの職員配置基準や

催する研修会において、食生活の改善につながる手段として、ポーションコントロールプレートについての情報を提供するとの答弁があった。

これに加え県からは、栄養・食生活の改善につながる新たな取組として、県民の皆様方が、外食等を利用する機会においても、バランスの良い食事を選択できるよう、飲食店や給食施設などの調理関係者に対し、メニューの改善につながる提案をしていくとの答弁があった。

非公表リストの公表を検討へ



長江正成
議員(瀬戸市、4期)

国などで話題となっている公文書に関する、文書は、リスト化され公表されているが、意思決定過程を明らかにする資料は、破棄される際にもリストを公表し第三者のチェックを受けるべきと質した。

県は、公表リストに保存満了日が記載されていることから、破棄する文章を確認すること

新政あいち県議団代表質問から

(6月18日、本会議)



水谷満信総務会長
(天白区、4期)

第70回全国植樹祭を契機とした森林整備

Q 森と緑づくり税を活用した森林の整備が進められている。全国植樹祭の開催を契機に、どのように進めていくのか。

知事 全国植樹祭では、天皇陛下から「健全な森を次世代のためにつくっていくことは、私たちに課せられた大切な使命であります」とのお言葉を賜り、大変光栄に思いますとともに、しっかりと森と緑づくりを進めていくことを決意しました。「あいち森と緑づくり事業」により森林の整備を着実に進めてきた。今年度から新たな10年計画により間伐を推進する。防災効果の高い、公道・河川沿い、集落周辺の間伐を重点的に実施し、モデル的に実施してきた「循環型林業」の取組を本格化させ、災害に強く県民の豊かな暮らしを支える健全な森林を造り、次世代に引き継いでいく。

道路整備の推進と老朽化対策の促進

Q 道路ネットワークの充実が常に求められている。今後どのように道路整備を推進し、構造物の維持管理及び計画的な老朽化対策にどのように取り組んでいくのか。

知事 国際物流拠点と産業集積地を連絡する道路ネットワークの構築や高速道路インターチェンジへのアクセス強化に取り組んでいる。道路の機能の維持と安全性の確保も極めて重要であり、道路構造物長寿命化計画を策定し、計画的な点検や補修に取り組んでいる。昨年度まで法定点検の一巡目を完了し、増設橋や



森井もとし

議員(守山区、4期)は、女性の就労環境が大きく変革するなか、「小1の壁」と言われる放課後の子ども

の預け先不足等の課題と、放課後児童支援員の配置や資格要件などが、地方の裁量で変更できる「参酌すべき基準」に緩和されたことを踏まえ、クラブの運営はもとより、生活支援、こどもたちの安全確保など適切な指導が出来る人員の確保に向け、各市町村の判断で安易な基準緩和が行われないよう、

の壁」と言われる放課後の子ども

県としてどのように対応していくのか県の姿勢を質した。健康福祉局長は、「配置職員の要件が参酌化された後も、県として認定資格研修を実施し、市町村に対して適切な運営を働きかけるなど今後も放課後児童クラブでの児童の安全が確保されるよう取り組んでいく」と答弁。

また、森井議員はAIを活用したRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)を始めとしたICTを活用した行政業務改革に対する取り組み、市町村への導入に向けた支援について質した。

を導入の予定はないか資料収集の専門的知識を有する公文書館と所管課のチェック体制を徹底するとともに、精通した職員の育成・資質向上を日指すことに加え、本年4月からは、新たに文書事務を監督する文書監督者を各局に配置し、行政文書の適正管理に努めると表明した。また、紙で保存されている文書やメール文書について、平成16年度より前の文書は、それぞれの所管課で、ファイル単位で紙媒体の管理がされており、現在未公表であるが、今後、その集約の方法や不開示情報があった場合の取り扱いなど、リストの公表に向けた検討を行うと答弁した。

盗難自動車対策として、

「ヤードにおける盗難自動車の解体の防止に関する条例」を制定

愛知県内の自動車盗発発生件数は2018年に839件、被害総額約22億5900万円で、全国ワースト4位と大変多い状況。盗難自動車の多くは「ヤード(自動車解体施設)」において解体され海外へ輸出される現状があり、ヤードの数も全国で4番目に多いため、その実態把握とともに、盗難自動車の解体の未然防止及び将来に向けた悪質ヤードの排除を行うために制定。

主な内容は①届け出制による自動車解体業

者の実態把握②自動車を引き取る場合に相手方の運転免許証や自動車検査証等による処分権限の確認義務③ヤードや事務所への立ち入り調査④自動車解体業者に土地の貸付け等をする者に対する規制⑤自動車解体業の停止等行政処分とその公表。【施行日2019年12月1日】(一部は先行して10月1日施行)



主な質問③

交通安全対策

Q 交通事故を防止し、交通死亡事故を抑止するためには、幹線道路対策、生活道路における交通弱者への安全対策が重要である。今後どのように取り組んでいくのか。

知事 幹線道路対策は、交差点改良や歩道設置などの技術対策や、カラー舗装などの対策に取組、対策実施箇所では効果をあげている、引き続き対策を進めていく。

身近な生活道路の対策は、通学路対策では、道路管理者・警察・学校が連携し策定した「通学路交通安全プログラム」に基づき点検を行い、危険箇所では、路肩のカラー化などの対策を行い、危険箇所の解消に向けた継続的な取組を推進する。

生活道路のエリア対策は、幹線道路で困った事故多発地区は、道路管理者と警察が連携して、通過交通および走行速度の抑制を図るための計画を策定し、交通弱者が安心して通行できる歩行空間の確保に向けた対策を推進している。

主な質問④

自動運転の実用化に向けた取組

Q 自動運転の進展を見据え、自動運転の技術開発や新たなビジネスモデルの創出を今後どのように進めていくのか。

知事 今年度、本県では、内閣府の近未来技術等社会実装事業を活用し、自動運転の早期の社会実装を見据えた実証実験を県内3箇所で行う。産学行政で構成される「あいち自動運転推進コンソーシアム」において、情報共有や横展開を図ること、県内企業の自動運転ビジネスの創出を支援していく。

愛知が、自動車産業において引き続き世界をリードする存在であり続けるため、最先端の取組に挑戦することで、自動運転の更なる技術開発やビジネスモデルの創出を促進していく。

令和元年度 新政あいち県議団議会役員等

● 新政あいち県議団役員

同役員	団 長	安 藤 と し き	副 団 長	か じ 山 義 章
	幹 事 長	西 久 保 な が し	副 幹 事 長	日 比 た け ま さ
	総 務 会 長	水 谷 満 信	副 総 務 会 長	黒 田 太 郎
	政 策 調 査 会 長	嶋 口 忠 弘	副 政 策 調 査 会 長	お お た け り え
	監 事	渡 辺 靖	監 事	桜 井 秀 樹
	常 任 顧 問	塚 本 久		

● 議会役員等

常任委員会	総 務 企 画 (5)	副委員長 渡 辺 靖	理事 西久保ながし	浅井よしたか	日比たけまさ	小木曾史人
	県 民 環 境 (4)	委員長 安 井 伸 治	理事 高木ひろし	水谷満信	樹神義和	
	福 祉 医 療 (4)	副委員長 嶋海やすひろ	理事 富田昭雄	谷口知美	永井雅彦	
	経 済 労 働 (4)	理事 塚 本 久	森井元志	久野哲生	嶋口忠弘	
	農 林 水 産 (5)	理事 西川厚志	鈴木 純	小山たすく	鈴木まさと	桜井秀樹
	建 設 (4)	副委員長 黒田太郎	理事 高橋正子	安藤としき	松本まもる	
	教 育 ・ ス ポ ー ツ (4)	委員長 福 田 喜 夫	理事 かし山義章	佐波和則	おおたけりえ	
	警 察 (4)	委員長 朝 倉 浩 一	理事 長江正成	天野正基	河合洋介	
特別委員会	議 会 運 営 委 員 会 (5)	副委員長 小山たすく	理事 水谷満信	理事 西久保ながし	安藤としき	嶋口忠弘
	行財政改革・地方創生調査 (5)	理事 西川厚志	長江正成	浅井よしたか	嶋口忠弘	桜井秀樹
	産業イノベーション推進 (5)	委員長 鈴木 純	理事 かし山義章	谷口知美	樹神義和	小木曾史人
	安全・安心対策 (4)	副委員長 佐波和則	理事 久野哲生	永井雅彦	福 田 喜 夫	
	人づくり・福祉対策 (5)	理事 高橋正子	西久保ながし	鈴木まさと	朝 倉 浩 一	おおたけりえ
一部事務組合	ア ジ ア 競 技 大 会 調 査 (4)	副委員長 天野正基	理事 高木ひろし	小山たすく	渡 辺 靖	
	競 馬 (3)	副議長 森井元志	水谷満信	黒田太郎		
	競 輪 (3)	安藤としき	日比たけまさ	嶋海やすひろ		
審議会	名 古 屋 港 (5)	企画総務副委員長 河合洋介	塚 本 久	富田昭雄	安 井 伸 治	松本まもる
	政 治 倫 理 審 査 会 (5)	副会長 高木ひろし	高橋正子	鈴木 純	谷口知美	久野哲生
	屋 外 広 告 物 (1)	鈴木まさと				
	都 市 計 画 (2)	常務委員 河合洋介	おおたけりえ			

松本まもる事務所

〒458-0824 名古屋市緑区鳴海町有松裏7-19
(名鉄有松駅北すぐ)

TEL 052-825-4155 FAX 052-825-4156



■ 松本まもるプロフィール

- 1963年 熊本県生まれ
- 1982年 星城高校 普通科 卒業
- 1993年 名古屋鉄道(株)入社 自動車事業本部 知立自動車営業所勤務
- 2001年 名古屋鉄道労働組合中央委員会
- 2015年 名古屋市議会議員初当選
- 2019年 愛知県議会議員初当選
建設委員会
名古屋港管理組合